

毎月 11 日は

防災を(考)える日



「集中豪雨に備えよう」

令和3年6月号

■集中豪雨とは？

短時間のうちに狭い範囲に集中して降る大雨を集中豪雨と呼び、日本付近に前線が停滞する梅雨期や、台風の接近・上陸時、大気の状態が不安定で次々と雷雲が発生する時などに発生します。

集中豪雨により、河川の増水による氾濫や土砂崩れなどが起きたり、家屋が浸水したり道路が冠水する可能性があります。

◇注意すべきポイント

- ・ いざという時にどのように避難するか、避難場所と避難経路を確認しておきましょう。
- ・ 非常時の持ち出し用の荷物を点検しておきましょう。
- ・ 日頃から最新の天気予報をよくチェックしましょう。



【「集中豪雨への備え」(総務省消防庁ホームページ)を加工して作成】

■防災基礎クイズ

Q. 大人1人に必要な飲料水の目安は、1日3リットルである。○か×か？

毎月11日は「防災を考える日」です。

震災の教訓や災害への日頃の備えなどについて、家庭や学校、職場、地域などで話し合ってみましょう。

■問い合わせ先／気仙沼市総務部危機管理課防災情報係

☎:0226-22-3402 FAX:0226-22-1467 E-mail:kikikanri@kesennuma.miyagi.jp

(〇:ㇿㇿ)